



(医)潤心会理事長(岩手県)

鈴木千枝子 ②

「千枝子先生、おはようございます」。  
朝6時、ぼーっとした頭と顔トレーナー姿の私が近くの公民館で行われた町の胃がん検診に行った時のことです。「会計と書かれた表示の向こうで、すみません」  
ごくさわやかな青年がニコニコ

とあいさつしてくれたのです。  
「えっと、どちらさんでしたっけ?」「Iです」「あー双子さんでデニス部だった。あれどっち?」「こんな口をきけるのも子供のころからの患者さんと気が付いたからです。」

「弟のIです。兄のKはもう結

渡しながら発した一言がこれです。  
「うちの娘と合コンしませんか?」。  
娘より一つ年上の彼は父上が警察官のため転校があり、近所に住んでいながら、娘とは全く接点がありませんでした……、

## チャンスに後ろ髪はない

婚して埼玉にいます。子供も生まれそうですよ!」「まあそう!じゃIさんももうお子さんとかいらっしやるの?」「いえいえ相手もいません」。

ピッカーン! 早朝過ぎてまだ寝ていた私の脳みそがその一言でバッチリ目を覚まししました。そして検診料の千円を彼に

もとい全くではありません。後に分かったことですが、小4のうちの娘は双子の兄の方、K君にバレンタインのチョコを渡したことがあり、私はなんと娘に頼まれお宅まで付いて行ったそうなのです。私は全く覚えていませんでしたが、彼のご家族は全員知っていました(汗)。

私の爆弾発言から2週間後、今度は娘が子宮がん検診に行き、Iさんに会いました。帰宅後、連絡先を知りたいという娘のために、私が知り合いの彼の上司に連絡先を聞いたのです。母の愛です。パワハラではありません。それから7カ月後の昨年12月25日、二人は職場も実家も半径300m以内という地の利もあり、お互い忙しいなか毎日デートを重ね、めでたく入籍。現在は、わが家の2階が新居となり、娘はせっせと彼のお弁当を作っています。

「チャンスに後ろ髪はない!」これを実践した母親を二人はぎっと一生大事にしてくれると思います。未永くお幸せに。